

# 野川台自治会 あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会  
 発行者：野川台自治会長  
 川崎市宮前区  
 TEL.  
 協力：西野川小・野川中PTA、野川小、南野川小、  
 野川町内会、西団地自治会、野川南台自治会、  
 おやじの会、すずの会、一葉会、青少年指導員、  
 地区民児協、地区社協、野川こ文ほか  
 編集：福祉の風土づくりを進める会事務局  
 代表



## 家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



### あいさつで「心のキャッチボール」を!

西野川小学校 校長 小野瀬 三智子

西野川小学校に着任して半年が経とうとしています。毎朝、正門で子どもたちを迎えていると、「おはようございます」の聲があちらこちらから聞こえてきます。元気な声、ちょっと小さな声、恥ずかしそうな声、ニコニコ笑顔・・・みんなにあいさつをしているうちに、気が付くところが元気をもらっている気がします。私も少しずつ地域の方の顔を覚え、あいさつの後の何気ないおしゃべりが楽しくなってきました。

西野川小学校では、毎週火曜日にあいさつ運動を学年ごとに行っています。特に地域の方と一緒にいることが分かります。あいさつは、「心のキャッチボール」と言われています。毎朝子どもたちとあいさつをすることで、私はキャッチボールができてきた気がします。子どもたちにも、友達同士や先生方、そして地域の皆さんとの「心のキャッチボール」の心地よさを感じてほしいと思っています。



西野川小学校の朝のあいさつ運動

### あいさつは 魔法の言葉

野川中学校 校長 森島 烈

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、あいさつはたくさんありますが、私がいさつで常に心がけていることがあります。

あ： 明るく、元気よく  
 い： いつも、どんなときも  
 さ： 先に（まず自分から）  
 つ： 続ける

ということです。

私は、朝、気持ちのいいあいさつをしてもらえるととても幸せな気持ちになり、その日一日が、心温まる一日となります。だからこそ、人にもそのような気持ちを味わってもらいたいと思ってあいさつをしています。あいさつは人を豊かにできる「魔法の言葉」なのです。この「魔法の言葉」の輪を、さらに広げていければと考えています。



野川中学校の朝のあいさつ運動

### ペットボトルロケット発射!

親子で味わったつくる楽しさ!

西野川小学校おやじの会のメイン事業の「ペットボトルロケット大会」が、7月下旬に、主に1年生から3年生の親子60名を対象に開催。当日38度の猛暑の中、校長先生も参加。子どもたちはいつもと違って何となく浮き浮きした振る舞い。一方お父さん方も「子どもに誘われて、初めて参加したが、悪戦苦闘ですね!」また「4回目の挑戦だけど、前回体育館まで飛ばしたのに、今回はなかなかうまく作れないね!」さらには「子どもと一緒にいれるのがなにより嬉しいですね!何だか子どもに遊んでもらっている感じがな! (笑い)」などの声も聞かれました。

工作後、みんな揃って校庭に移動、会の名物男「佐藤さん」の「おやじ」の一声のもとに、本番のロケットの発射に挑戦!。上段まで飛んだロケット、どういう訳か途中で失速したロケットなど発射の度に親子の歓声が校庭に響き渡りました。親子でつくる楽しさを味わった心温まる一日でした。(事務局)



“おやじ”の一声!



準備完了!





## 支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



### 大地震に備えてあなたも、私も！

宮前区総合防災訓練実施

9月9日、野川小学校で、野川中学校区合同避難所運営会議と宮前区自主防災組織連絡協議会 宮前区役所主催の防災訓練が、私たち野川地域の町内会、自治会等の協力のもとに開催されました。

特に冒頭のあいさつの中で、今回は、高齢者から子どもまでが参加できる訓練にしたいとお話があり、過去の地震の教訓や首都直下地震発生の切迫性を踏まえ、20近くの訓練を楽しみながら体験しました。

体育館では、避難所の開設・運営や応急救護訓練、校庭では、消防隊員による降下訓練の披露の他、初期消火、起震車による地震体験、炊き出し等の訓練を自助・互助・公助のもとにみんなで実施しました。

特に過目発生した震度7の〈北海道地震〉の直後なのか、起震車に多くの家族連れが順番待ちをしていました。体験された方から、「備蓄用品を揃えておくことも大事だが、地震の怖さを子どもも大人も体に覚えさせておくことも必要ですね！」の声も聞かれました。今日の訓練を通じて、日頃の近所のネットワークづくりの大切さが浮き彫りになった一日でした。(事務局)



起震車による地震体験



中学生による簡易消火訓練

### 「あいさつの風」吹かそう

野川小学校 校長 藤生 豊

「おはようございます！」校門に元気な声が響き、さわやかな「あいさつの風」が吹きます。野川小学校の一日は、あいさつ運動をする子どもたちの元気な声でスタートします。野川小学校では、順番で全クラスがあいさつ運動に参加しています。朝のあいさつは、その日一日を頑張るためのパワーの源です。私自身、子どもたちが笑顔で返してくれる「おはようございます。」に日々元気をもらっています。

気持ちのよいあいさつは、お互いの心をすがすがしくさわやかにしてくれます。また目と目を合わせて笑顔であいさつを交わすことで心と心が結ばれます。地域の方々とともにあいさつ運動に継続して取り組み、

さらに「あいさつの風」を吹かしていきたいと思います。子どもたちが地域の方々と明るくあいさつを交わし、子どもたちと地域の関係を深めていければと考えています。今後とも暖かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。



野川小学校の朝のあいさつ運動

### 夏の風物詩 “寿楽園納涼祭”

第12回目を迎えた寿楽園納涼祭は、猛暑につき、主催者側の配慮で30分遅らせて開園。しかしその思いを越えて、入居者とその家族も含め、地域の老若男女合わせて、延べ700名を超える方々の参加をみ、事故もなく、楽しい袖ふれあう夏祭りになりました。

模擬店コーナーにおいては、初出店の果実コーナーのスイカが飛ぶように売れ、また野川台自治会の役員総出で仕込んだ特製の焼きそば400食も完売するなど各店とも盛況。一方特設舞台では、365歩のマーチから始まった野川中吹奏楽部のフレッシュな演奏、お子さんの愛らしい衣装のフラダンス、地域の迫力のある和太鼓などが演じられました。その中でも異色なのは野川中の卒業生で、マジックコンテストでグランプリを受賞した若干18歳のマジシャンの佐々木俊一さんの演技には、会場全体が、一瞬、その手の動きに吸い込まれ、そして驚きと感動の中で、拍手喝さいに包まれていました。

最後は、恒例の施設職員による若さ溢れる力強い「よさこいソーラン」をもって、地域の夏の風物詩の寿楽園納涼祭が閉じられました。(自治会と共催)



特製の焼きそば！



若さ溢れる“よさこいソーラン”





# あいさつは 心と心をつなぐ糸

—— ひとことでみんなの顔に花が咲く ——



## 野川を笑顔あふれる地域に！

— 野川地域の三つの小学校の児童の声 —

### 西野川小学校

✿ わたしは、あいさつが大好きです。なぜなら、あいさつはわたしに元気をくれるからです。わたしは、一年生の時に、友達があまりいなくて、さびしい思いをしました。でも、勇気を出してあいさつをすると、相手もあいさつを返してくれて、友達がふえていきました。なので、わたしは、あいさつが大好きです。

(5年 吉永 有花)

### 野川小学校

✿ なぜあいさつをするのだらうと思う人がいると思います。なぜと思う人は、だれかにあいさつをすると心の底から晴れ晴れとスッキリした気持ちになります。すると今日一日なにかいいことがありそうな、がんばろうという気持ちになります。だから毎日あいさつをすると一日一日を大切にすることが、できると思います。

(6年 高崎 愛莉)

### 南野川小学校

✿ あいさつ運動は、勇気が出る活動です。たとえ、あいさつする時に勇気がなくても、一步一步やれば勇気が出ると思います。そして標語の通りあいさつをすれば野川の地域は笑顔もあふれるし、仲良くもなれると思っていました。私はあいさつをして、返してくれと、とてもうれしいです。これからも続けていきたいです。

(5年 小林 葵衣)

## 真心をもって

南野川小学校 校長 野村 智

明るく元気なあいさつは、相手との関係をよくして、1日を気持ちよく過ごすことができます。南野川小学校の子どもたちのあいさつの素晴らしさには、着任した初日から感心しています。

学校では、子どもたちの行動範囲の広がりとともに様々な人との関わりも増えてくることから、あいさつなどの礼儀は社会生活を営む上で欠くことのできないものであることを抑さえ、礼儀作法の形にこめられた相手を尊敬する気持ちを学年に応じた形で指導しています。低学年では、気持ちのよいあいさつ、動作などに心掛けて、明るく接すること。中学年では、礼儀の

大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること、高学年では、時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することを指導の目標にしています。

家庭や地域社会との共通理解を深め、連携した指導を今後も大切にしていまいります。



南野川小学校 朝のあいさつ運動

## 吹奏楽部 東関東大会に栄えある出場

8月7日に県大会で金賞に輝いた野川中吹奏楽部は、9月9日、念願の東関東大会に出場。課題曲の後の自由曲「祈り」の演奏で、戦争の悲しさ、むなしさを冷静で、重みのある表現に努め、高い評価をいただきました。その陰には、大会までの1か月の間に猛練習を積み重ね、音の正確さに加え自然な響きがスマートに“聴衆の心”に伝えようとする思いがあったからです。吹奏楽部は、技術向上のため大会での演奏も大事にしていますが、中学校の吹奏楽部の存在は、地域に愛され育てられるところにあります。その意味でも、誰でもが楽しめるような童謡から、演歌、ジャズ、クラシック等幅広い演奏に心がけ、参加者と気持ちが一体となった暖かいコンサートづくりを目指しています。この11月までに、地域で14回の出演の機会を得ているとのことですが、部員の皆さんと顧問の先生の日々の努力で、私たちの身近な生活の場で一緒に楽しめることは、本当に素晴らしいことです。(事務局)



地域に愛される演奏！



# 学校と地域のつながり



## 学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

### 楽しい「七夕まつり」!

7月7日は、織姫と彦星が一年に一度“天の川”で会える「七夕の日」。その日にちなんで、野川こども文化センターでは、同運営委員会と野川いこいの家の三者共催の「七夕まつり」を7月8日に開催。

会場のプレイパークには、猛暑に拘わらず終日400名もの子どもたちや親御さんの来場をみていました。

「仲のよい友達と一日中ゲームをして遊びたいから、朝、みんなに電話したよ!」と張り切って列に並んでいる男の子、おばあちゃんに連れられて“ヨーヨー”をつかむのに夢中になっている幼い子、そしてかき氷を片手に「今日は7人で、好きなものを食べ、遊ぶの!」と笑い声の絶えない女の子のグループ。みんなそれぞれの思いをもって、夏の始まりとも言える「七夕まつり」の屋台やゲームを満喫していました。

(山本)



ヨーヨーつり!



まとあて!

### 映像制作部 全国大会に出場!

映像制作部は、40名で活動しています。この夏、NHK放送コンテストのアナウンス部門と、朗読部門で全国大会に出場しました。

朗読部門では、瀬尾まいこさんの「あと少し、もう少し」の作品を選びました。アナウンス部門では、昨年12月から給食が始まりました。その給食委員会の委員長として、みんなの声を聞きながら進めてきたことや、栄養面や地元の野菜が食材になっていることなどを原稿に書き、コンクールに臨みました。先生方の指導のもとに人に話しかけるように強弱をつけながら、素晴らしい録音を全国に届けることができました。今は秋の野川中芸術祭に向けて作品を制作しています。映像制作部の力作をどうぞご覧ください。

(顧問 村上、兎山の両先生)



笑顔!

### 待ちに待った運動会!

子どもたちが待ちに待った運動会!前日の天候にみんなやきもき!でも晴れて、朝早くから、会場づくりに協力し合ったお父さん方!今日は西野川小学校と地域の楽しい行事!

校長先生の「一生懸命やるのが楽しい、かっこいい、と思える運動会にしましょう」というお話の後、本当にわき目もふらずに頑張る1年生、そして下級生への思いやりが随所に見られる上級生、今日は五月晴れの心温まるすばらしい運動会でした。(立元先生)



1・2年生のたま入れ!



5・6年生のいざ出陣!

### 相撲部 関東大会、全国大会で大健闘!

野川中の相撲部は、特色のある練習で知られています。足腰と瞬発力を鍛えるため、しこやすり足の稽古に合わせて、柔道の受け身や乱取りの練習も併せてしています。

今年は、着実に、市大会、県大会と勝ち進み、そして関東大会、さらに全国大会に駒を進めました。特に8月12日、埼玉県上尾で開催された関東大会では、個人戦、団体戦とも善戦、善戦の連続で大健闘!

個人戦では、2勝1敗で予選を突破しましたが、決勝トーナメントでは、この大会で優勝した神田一中に善戦むなしく敗退、団体戦では、最高の布陣の先づう、中堅、大将をもって臨み予選をなんとか突破。しかし決勝トーナメントでは、まともや準優勝した柏二中に惨敗したものの、気迫のこもった戦いぶりは、多くの観客から惜しめない拍手をいただきました。部員一人一人がチームワークを大切に、ケガ防止にも徹した基本練習の成果が実ったことが伺えました。(顧問、五十嵐、金井の両先生)



団体戦に臨む!

### 編集後記

野川地域内のすべての小・中学校の校長先生に執筆をいただきました。お忙しい中、本当に有難うございます。ご承知の通り、地域でのあいさつ運動は、世代交流そのもので、かつお互いさまの地域づくりのベースと思っています。引き続きよろしくお願いします。(原、高尾、櫻井、前之園、辻本)